

札幌社保協 FAXニュース

2015年 7月17日(金)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
7月30日(木)です

札幌社保協2015年度総会を開催

戦争法案・憲法改悪と社会保障改悪に 反対する、国民的なたたかいを進めよう



7/11(土)札幌社保協第18回総会は、「戦争する国づくりと社会保障改悪は一体のもの～戦争法案・憲法改悪反対と、社会保障改悪に反対する、国民的なたたかいを進めよう！」をスローガンに開催されました。同日は戦争法案に反対する大規模な集会と重なり、参加がいつもより少なくなりましたが、13団体、5区社保協から25人が参加しました。

「『自治体消滅論』に異議あり！」学習会

今年度から土曜午後に変更し、第1部は学習会として、小田清北海道地方・自治体問題研究所理事長に、自治体消滅論の意味と安倍政権の地方創生政策について講演をしていただきました。

田村白石区社保協事務局長を議長に選出し、齊藤事務局長が2015年度の運動方針案、決算・予算案を提案し、参加者の討論を行いました。

<発言から>

●勤医協在宅～道議会で介護報酬見直しの意見書が採択された、札幌市姿勢は国追随である(下の記事参照)、●地区労連～労働法制改悪反対の連合との共同、最賃引き上げの意見書が昨年より上がらない、●保育労組～小規模保育の開始と問題点、保育の短時間認定の問題など、●共産党市議団(坂本団長)～国保問題、介護・地域包括ケア、就学援助の基準維持などについて、●西区社保協～子どもの貧困をもっと取り上げて、SOSネットの活動、●勤医協～骨太方針の学習とたたかい、介護現場の実態、無料低額診療の保険薬局助成実現を、●北区社保協～介護については事業者だけでなく利用者・家族等を巻き込んだ広い運動に、●白石区社保協～白石社保協総会と活動、中央社保協総会参加の報告。

役員には、高崎裕子(弁護士)、内村 密(地区労連副議長)、堀毛清史(勤医協理事長)、佐藤宏和(道生連副会長)の4氏が代表委員、齊藤浩司氏(勤医協)が事務局長に再任されました。また、運動方針案、決算、予算案の他、戦争法案反対のアピールが全体で確認されました。

介護報酬の見直し・引き上げを ～市は国追随の姿勢

北海道社保学校 in 江別

10月12日

(月・休日)

9:30～16:00 江別市民会館

【記念講演】

安倍「社会保障改革」を問う！真の改革への対案

講師：芝田英昭

立教大学教授

参加費：1,500円

7/8札幌市議会厚生委員会は介護に笑顔を!道連絡会などが提出した「介護報酬引き上げの再改定」を求める意見書の審査を実施。職場・地域から駆けつけた40人以上が傍聴しました。

趣旨説明で、勤医労の室岡昇副委員長は現場の深刻な人手不足の実態と人材確保と処遇改善の必要性を強調。手稲センターの木幡秀男センター長は「介護報酬引き下げで年間300万円減収となった事業所もある」など訴えました。

議員からの質問に、市側は「(報酬改定について)介護保険制度の持続可能性の視点からは理解できる」、市独自の報酬引き下げ影響調査については、「国の結果を見たい」と回答。全体として、札幌市は独自性がほとんどなく、国の施策に追随する姿勢が明らかになりました

意見書の取り扱いは多数決の結果、自民、民主、公明が採択を拒否し「継続審議」となりました。

